

址どころ

学校だより 第9号
花巻市立花巻小学校
令和7年11月6日(木)
(「址どころ」は校歌2番からとっています)



心をひとつに 想いをつなないで 2025.10.25 「第30回賢治集会」



10月25日(土)、今年も年に一度のイーハトーブのお祭り『賢治集会』が行われました。たくさんのご来賓をお招きし、保護者・地域の皆様のご参観のもと、きょうだい学年の発表や、群読、合唱発表が繰り広げられました。

オープニングは全校での「星めぐりの歌」で幕を開けました。続いて2・5年生の劇「貝の火」、4年生による合唱発表「耕母黄昏」「エール」が行われました。休憩をはさみ後半は3年生の群読「雨ニモマケズ」、続いて1・6年生の劇「どんぐりと山猫」の発表があり、フィナーレは全校児童による「ポラーノの広場のうた」が披露され、第30回賢治集会は幕を閉じました。

どの発表も、宮澤賢治作品の世界観を自分たちなりに考え、工夫して表現していました。今年のテーマ「人のために」を掲げ、作品に込められた想いを感じながら、きょうだい学年や学年の友達と協力して取り組んできたことが伝わる発表でした。花小が今まで大切にしてきた伝統文化が今年も受け継がれました。

発表を終えた子ども達は、達成感・満足感でいっぱいでした。たくさんの心温まる拍手と励ましに感謝いたします。誠にありがとうございました。

【集会の進行は自分たちの手で】



賢治集会は児童集会です。それぞれの発表はもちろん、集会全体の司会進行も自分たちで行います。児童会執行部の児童が、シナリオに沿ってスムーズに集会を進めました。落ち着いた進行ぶりはお見事でした。



【賢治作品の音楽も手作りで】



デジタル化が進む昨今ですが、賢治集会では、劇中の音楽をできるだけ生演奏で行います。各学年の「音楽隊」が賢治作品の世界を音で表現します。演技に合わせた効果音を出したり、場面転換の曲を演奏したりと、タイミングよく演奏することで劇の流れを作り出していました。素晴らしいかったです。

各学年の発表から

★2年生&5年生 貝の火

主人公のホモイは、「貝の火」という宝物を手に入れますが、しだいに自分を見失ってしまいました。

2年生も5年生も台詞や動きを工夫しながら物語の世界をよく表現していたと思います。貝の火の表現も工夫されていて、最後のメッセージは考えさせられました。音楽隊も物語に合わせた演奏で物語の雰囲気を盛り上げていて効果的でした。



★1年生&6年生 どんぐりと山猫

一郎が、おかしなはがきをもらったことから始まる物語。山猫とどんぐりの「めんどなさいばん」を一郎が鮮やかに解決しました。

6年生は堂々とした、さすがの演技力でした。1年生は一生懸命なかわいらしい演技を披露しました。フィナーレの合唱では1年生と6年生が一緒に大きな振りつけでにこやかに歌う姿はほほえましいものでした。



★3年生 雨ニモマケズ 4年生 耕母黄昏ほか

3年生は群読「雨ニモマケズ」を披露しました。9月に文化会館（賢治祭）で発表した内容をバージョンアップして、発表しました。声が迫りくる迫力の群読、伸びのあるきれいな歌声で歌った「精神歌」が素敵でした。（写真上）

4年生は市内音楽発表会でも披露した「耕母黄昏」と「エール！！」を堂々と発表しました。しっとりと景色が浮かぶような歌声の1曲目、元気に軽やかな歌声の2曲目と、素敵な歌声を体育館中に響かせました。（写真下）



市内音楽発表会（4年生）

賢治集会に先立ち、10月15日（水）に花巻市文化会館で開催された「花巻市内小学校音楽発表会」に、本校4年生児童が参加しました。

市内の小学校全16校のうち、午後の部8校中2番目に出演した本校児童は、「耕母黄昏」と「エール！！」を響きのある声で心一つに歌い、会場から大きな拍手をいただきました。

会場に足を運んでくださった保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

